

# 図書館だより

ノートルダム学院小学校

2017.07.03 (月)

No.4

夏だ!外で元気に遊ぼう  
そして、本も読もう



どの学年も学年テストが終わり、結果が返ってきたころでしょう。4月から頑張ってきたようすをお家の方に見ていただけたでしょうか。

さて、次に来る楽しみはといえば『夏休み!』心がウキウキして、待ち遠しいですね。しかし、夏休みには宿題がたくさん出ます。塾の夏期講習に行く人も大勢いるでしょう。そこで、お助けマン登場!!

夏休みの宿題に必ず登場する『読書&感想文』毎年最後の最後までできなくて残してしまっていて、困っている人がいるのではないのでしょうか?それを今からやっておくのです。そうすると休みが『ナガークナル』というわけです。

やり方はまたもうすぐみんなにプリントを配りますが、ここでこっそり教えてあげましょう。

- まず、本をしっかり読んでみましょう。  
自分の好きなこと、興味のあることについて書かれています。  
いる本を選ぶこと。



よ とき おも ころ のこ すなお じぶん ことば  
・ 読んでいる時に思ったことや心に残ったことを、素直に、自分の言葉でメモしておく。

か じぶん いちばん か なに  
・ 書きとめておいたことをもとにしながら、自分が一番書きたいことは何かを考える。

しゅだい どうじょうじんぶつ い かた かんが かた ひとがら たい じぶん おも  
\* 主題・登場人物の生き方や考え方・人柄などに対して自分の思ったことを書く。

じぶん まわ せいかつ くら か  
\* 自分や自分の周りの生活と比べて書く。

いちばんかんだう かんめい う ぶん ことば と あ か  
\* 一番感動・感銘を受けた一つの文や言葉を取り上げて書く。

おな さくしゃ た さくひん くら か  
\* 同じ作者の、他の作品と比べながら書く。

しゅだい ないよう に ぎやく くら か  
\* 主題や内容のよく似たもの、また逆のものなどと比べながら書く。

おな ほん よ とも ひと はな あ かんそう くら  
\* 同じ本を読んだ友だちやおうちの人たちと話し合っ、感想を比べながら書く。

かがくてき さくひん おな じっけん かんさつ じぶん か  
\* 科学的な作品は、同じ実験や観察を自分でやってみて書くのもよい。

ぶんしょう せいり だんかい ぶんしょう か だ さいご くふう  
② 文章を整理する段階で、文章の書き出しや最後のまとめを工夫する。  
ぜんたいてき しゅじんこう かた か さくしゃ てがみ か  
全体的に、主人公に語りかけるように書いたり作者へのお手紙のように書いたりするのもよい。

かだいとしょ いちらんひょう の ほん えら か  
課題図書として一覧表に載っていない本を選んで書いてもかまいません。

げんこうようし たてが じひつ げんこうようし しゅるい  
○ 用紙：原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。原稿用紙の種類はと問いません。

じすう ていがくねん ぶ ほんぶん じ いない ちゅうがくねん ぶ こうがくねん ぶ  
○ 字数：低学年の部は、本文800字以内、中学年の部・高学年の部は、本文1200字以内です。

くとうてん じ かぞ かいぎょう かうはくかしょ じすう  
句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白箇所も字数として数えます。

だimei がっこうめい がくねん しめい じすう かぞ  
題名・学校名・学年・氏名は字数に数えません。

どくしょかんそうぶん かんが どくしょ  
読書感想文は『考える読書』だといわれます。

よ かんが か さら かんが ぶか  
読んで考え、書くことで更に考えを深められます。みなさんの素晴らしい作品を期待しています。

